

JS-RA6004

5MPアナログHD対応 4ch デジタルレコーダ

簡易マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、5MPアナログHD対応 4chデジタルレコーダ JS-RA6004の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめでご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用の前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。



- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承ください。
- アナログHDデジタルレコーダを初めてご使用になるか、使い方がよくわからないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせいただき、専門のエンジニアのサポートを受けてください。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けてください。
- 本機は業務用として電磁波適合した装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置) の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

本文書は、事前の連絡なく情報が変更されることもあります

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供を受けることができます。詳細内容はシステム設定 - 製品情報の画面でご確認願います。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでいます。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアを含んでいます。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

安全上の注意事項

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい一般事項を、警告・注意として説明しています。

警告

・ 工事は販売店に依頼する。

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊を防ぐためにも、必ず販売店にご相談ください。

・ 異常があるときはすぐに使用をお止めください。

煙が出る、臭いがするなどそのまま使用すると火災の原因になります。その場合は直ちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

・ 異物を入れない。

水や金属が内部に入ると火災や感電の原因となります。直ちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

・ 不安定な場所に置かない。

落下などでけがの原因になります。

・ 分解しない、改造しない。

落下などでけがの原因になります。

・ 不安定な場所に置かない。

火災や感電の原因になります。修理や点検は販売店にご相談ください。

・ アース(接地)は確実にこなう。

電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。

・ 電源コード・プラグを破損するような事はしない。

傷つけたり、加工・固定したり、束ねたり・ねじったりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。コードやプラグの修理の相談は販売店にご相談ください。

・ 電源プラグのほこり等は定期的にとる。

プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。

・ コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしない。

ブレーカが落ちなくても配線などの発熱による火災の原因になります。



警告

本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のもので、他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

注意

・ 通風孔をふさがない。

内部に熱がこもり、火災や故障、エラーの原因になります。

・ 湿気やほこりの多い場所に設置しない。

火災や感電、故障の原因になります。

・ 振動や強い衝撃を与えない。

内部部品の変形などで火災や感電、故障の原因になります。

| 記号 | 規格 | タイプ |
|----|-------------------|-----|
| | IEC60417, No.5032 | 交流 |
| | IEC60417, No.5031 | 直流 |

設置について

- ・ **とくにシステム稼動中は、振動や衝撃を与えないでください**

異常発熱や火災、感電の原因となります。

- ・ **内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。**

約30,000時間(この時間は部品の性能を保証するものではありません)を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。

- ・ **電源について**

使用電源はAC100Vです。設置の際は消費電力の大きな機器(コピー機や空調機など)と同じACコンセントからは電源を取らないでください。また本体は電源スイッチを“切”にしても電源からは遮断されません。必要に応じて本体と電源を遮断できるように、遮断装置ユニットの設置や、電源コードに容易に手が届くようにするなどしてください。

- ・ **雑音源を避ける**

強い磁界を発生する機器(テレビ、ラジオ、無線機、電動モーターなど)の近くでは、画像の乱れやノイズが発生するおそれがあります。また電灯線や動力線に近づけてケーブルを配線すると、ノイズが入る場合があります。このような時は設置場所やケーブル配線をかえるなどしてください。

- ・ **お手入れ**

安全のため、電源を遮断した状態で乾いた布や、薄めた中性洗剤等を染み込ませ固く絞った布で軽く拭いてください(ベンジン・シンナーは塗装がはげたり変形したりします)。お手入れの際、放熱ファンに物がはさまったり指をつめたりしないよう気をつけ、必要に応じて掃除機等もご利用ください。

- ・ **ほこりを避け、熱がこもらないように設置する**

本体には本体背面と本体右側に強制空冷ファン吹き出し口が設置され、本体の左側に空気取り入れ口が設置されています。設置の際は空気の流れを出来るだけさえぎらないように側面・背面・上面は壁面から5cm以上の間隔をあけるなどして、熱がこもらないようにして下さい。また本体内部の空気を循環させているため、床の上や足元などのほこりのたまりやすいところや、熱がこもるところ、湯気や油の多いところの設置は出来ません。また空気取り入れ口にゴミやほこりが目立ってきた時は掃除機などで取り除いてください。

- ・ **使用環境について**

0~40℃でご利用ください。この範囲を越えると故障や誤作動の原因となります。また、温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・ **内蔵バックアップ電池について**

時計や停電時の動作内容の保存などで内蔵バックアップ電池を利用しており、本体が通電していないときにはこの内蔵電池を利用しています。全く通電を行わない場合は、目安3年程で電池を交換されるか、必要に応じて交換されることをお勧めします。

- ・ **その他**

本体の故障、もしくは不都合により録画されなかった場合の補償についてはご容赦ください。

付属品の確認

製品の梱包を開けて、下記の部品がすべて含まれているか確認してください。

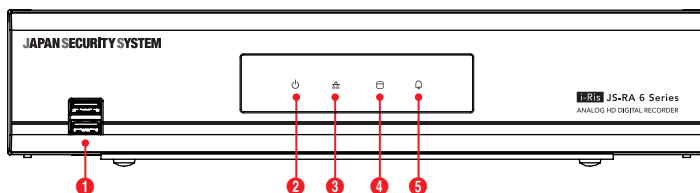
| 項目 | | |
|-----------|--------------------|---------|
| デジタルレコーダ | 電源ケーブル／電源アダプタ | 簡易マニュアル |
| マウス | 遠隔プログラム／製品のマニュアルCD | 保証書 |
| SATAケーブル* | ハードディスク固定用ねじ* | |

*ご購入いただいたDVRのHDD容量によって同梱物の有無及び数量が異なります。

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> | CD-ROMには次の各種取扱説明書(PDFファイル)、ソフトウェア等が収められています。 |
| 【取扱説明書】設置運用マニュアル(js-ra6004_im·om_verX.XX.pdf) | |
| 【取扱説明書】簡易マニュアル(js-ra6004_qg_verX.XX.pdf) | |
| 【取扱説明書】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf) | |
| 【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS) | |
| ※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。 | |

各部分の名称

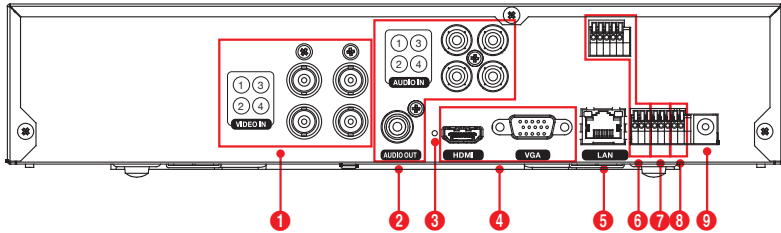
前面パネル



| | | | | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-----------|---|---------|---|---------|
| 1 | USB端子 | 2 | 電源LED | 3 | ネットワークLED | 4 | HDD LED | 5 | アラームLED |
|---|-------|---|-------|---|-----------|---|---------|---|---------|

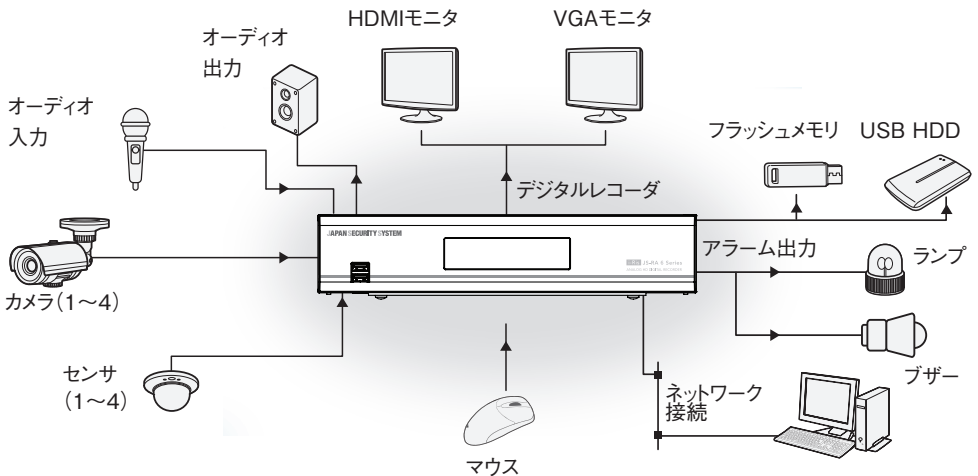
後面パネル

DVRの設置に際し、特別な専用工具は必要ありません。全体のシステムを構成する他の装置については、各装置の設置マニュアルを参照してください。



| | | | | | |
|---|----------|---|------------|---|----------------|
| 1 | ビデオ入力 | 2 | オーディオ入力/出力 | 3 | ファクトリーリセットスイッチ |
| 4 | ビデオ出力 | 5 | ネットワークポート | 6 | アラーム入力/出力 |
| 7 | RS232ポート | 8 | RS485ポート | 9 | 12V電源入力端子 |

サンプル構成図



パスワード設定

- 1 システムを初めて稼働する場合、adminユーザーアカウントのパスワード設定が必要です。

- 工場出荷初期パスワードはありません。
- 初回ログイン時に運用パスワード登録が必ず必要です。
- パスワードなしでシステムを使用することはできません。
- 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- 電子メールアドレスは、パスワード紛失の際に、パスワード再設定の認証番号を発行するのに必要です。メールアドレスを入力して、設定したメールアドレスを忘れないようにしてください。
- パスワードは、8～16文字で英大文字、英小文字、数字、特殊記号の内、3種類以上の文字の組み合わせが必要です。
(例：jA38v2c4、a1##sb32)
- 次の文字列は使用できません。
 - *IDと同じ文字列
 - *3文字以上の連続した数字が含まれる文字列
(例：123、321)
 - *3文字以上の連続した英字が含まれる文字列
(例：abc、cba、aBC)
 - *3文字以上の文字が繰り返されている文字列
(例：111、aaa、aAA)

ログイン

マウスのポインタを画面の右側に移動させて、リアルタイム監視メニューからログインを選ぶと、次のようなログイン画面が表示されます。


- 1 環境設定、検索等、DVRの様々な機能を使用するには使用権限のあるユーザーでログインしてください。ユーザー選択をし、パスワードを入ると、そのユーザーとしてログインします。パスワードを忘れた場合、左下の“パスワード探し”を押すと関連情報が現れます。

パスワード探し

パスワードを忘れた場合、ログイン画面で“パスワード探し”をクリックしてください。

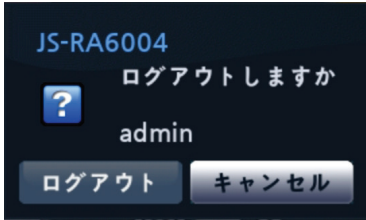
- 1 ユーザーを選択し、E-mailアドレスを入力した後、“認証番号取得”をクリックしてください。

- 2 E-mailで届いた認証番号を入力して“決定”をクリックします。

-  あらかじめ通知設定—メールの設定で、「SSL/TLSを使用する」をチェックしてSMTPが設定されていないと認証番号の通知はできません。



- マウスの右ボタンを利用してパスワード項目の右側のボタンを選択してスクリーンキーボードを用いてパスワードを入力します。スクリーンキーボード使用の内容は“メニュー使用法 - スクリーンキーボードを用いた文字入力”部分をご参照ください。
- システムからログアウトするには、マウスポインタを画面の右側に移動させて、リアルタイム監視メニューからログアウトを選びます。



メニューの使用法

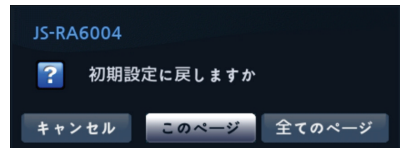
リアルタイム監視画面でマウスのポインタを画面の右側に移動させ、リアルタイム監視メニューから設定を選ぶと、設定メニューに入ります。設定メニューに入るためにはメニュー設定権限のあるユーザーでログインしてください。



| | |
|---|--------|
| ① | システム |
| ② | 録画 |
| ③ | イベント |
| ④ | ネットワーク |
| ⑤ | 装置 |
| ⑥ | ディスプレイ |
| ⑦ | 通知 |
| ⑧ | カメラ |

メニューのうち一つの項目を選択しようとする場合は、矢印ボタンで該当項目に移動してからマウスの左ボタンで該当項目をクリックしてください。

各項目の設定変更後に“保存”を選択して、変更した設定を保存してください。設定画面左下に初期化アイコンが表示される画面でアイコンを選択すると設定値が初期値に戻ります。



“このページ”を選択すると、現在のページ設定値が、“全てのページ”を選択すると設定画面の全てのページ該当する設定値が初期値に戻ります。


スクリーンキーボードを利用した文字列入力



矢印ボタンを利用して任意の文字に移動して矢印を合わせてマウスをクリックすると、文字が入力されます。⇨ボタンは大文字と小文字を設定し、⇩はカーソルの前の文字を、✖はカーソルの後の文字を消します。🗑️ボタンはキーボードの配列を変更します。⇨を選択してから^を入力すると、コントロール文字を入力できます。例えば、^JはNL(New Line)、^MはCR(Carrage Return)として認識されます。これはテキストイン検索設定時に使用されます。

マウスの使用

マウスを使って便利に環境設定することができます。望みの項目をクリックして選択したり、スクロールバーのあるメニューでマウスのホイールを上下に回してメニューを手軽に上下させることができます。

また、のように数字を増減させる場合にも、マウスのホイールを回すと楽に望みの数字に設定できます。

システム設定

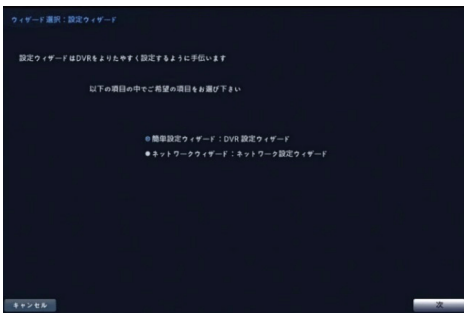
ウィザード実行

システム設定 - 一般にある“ウィザード”を選択すると設定ウィザードを通じてシステムの運営に必要な基本設定ができます。

簡単設定ウィザードかネットワークウィザードの中でご希望の設定ウィザードオプションを選択してから、“次”を選択し、その設定ウィザードを始めます。



ウィザード画面の全体で“キャンセル”を選択すると変更された設定をキャンセルし、メイン設定メニュー画面に戻ります。



“次”を選択して簡単設定ウィザードを始めます。



日付/時刻の設定

“日付”を選択すると、日付を変更できます。“時刻”を選択すると、時刻を変更できます。“日付 - 形式”と時刻 - 形式”を選択すると、日付表示方式と時刻表示方式を変更できます。

“標準時間帯”を選択するとその地域の時間帯を選択できます。以下の地図でマウスホイールを上/下に動かしてご希望の標準時間帯を選択することもできます。“サマータイム”を選択すると、サマータイム時間制の使用/解除できます。

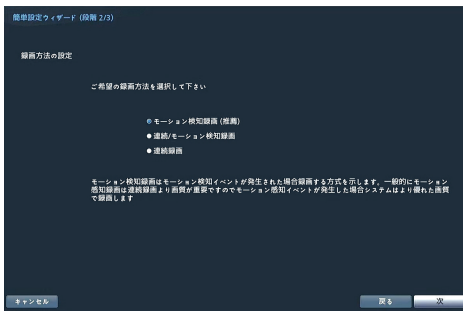


変更された日付/時刻の設定値は“次”を選択した後、システムに適用されます。



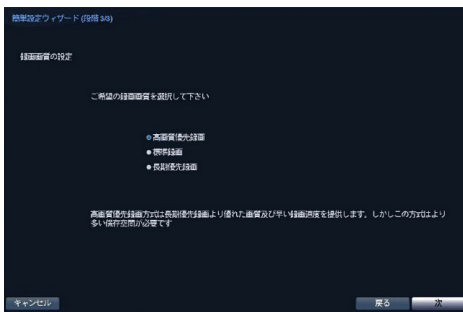
録画方法の設定

ご希望の“録画方法”を選択します。



録画面質の設定

ご希望の“録画面質”を選択します。



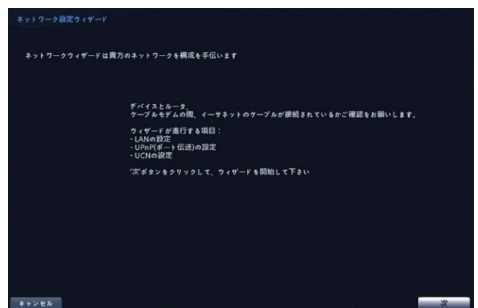
- 高画質を選択すればするほどハードディスクで大きい空間を占めます。
- 選択した録画方法及び画質によってチャンネル当たりの録画速度、録画解像度及び画質は以下のようです。

| | 高画質優先録画 | 標準録画 | 長期優先録画 |
|--------------|---------------------------------|--|---|
| モーション検知録画 | 30 ips / 最高画質 / 最高 | 15 ips / 高画質 / 最高 | 5 ips / 標準画質 / 高解像度 |
| 連続/モーション検知録画 | 連続、モーション： 30 ips / 最高画質 / 最高 | 連続： 15 ips / 高画質 / 最高 モーション： 30 ips / 最高画質 / 最高 | 連続： 5 ips / 標準画質 / 高解像度 モーション： 15 ips / 高画質 / 最高 |
| 連続録画 | 30 ips / 最高画質 / 最高 | 15 ips / 高画質 / 最高 | 5 ips / 標準画質 / 高解像度 |

“完了”を選択すると簡単設定ウィザードを完了します。“ネットワーク設定に移動”を選択するとネットワーク設定ウィザードを始めます。

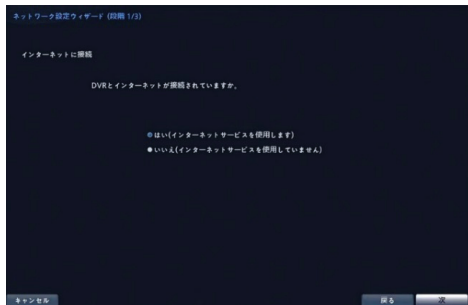


“次”を選択してネットワーク設定ウィザードを始めます。



インターネットに接続

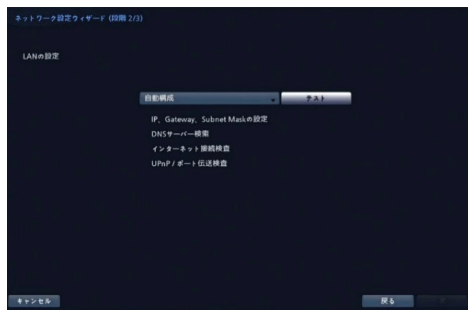
インターネットに接続されているか選択します。



LANの設定

“自動構成”及び“手動構成”の中でご希望のネットワーク構成を選択して“テスト”を選択し、そのネットワーク構成を使用するか確認することができます。

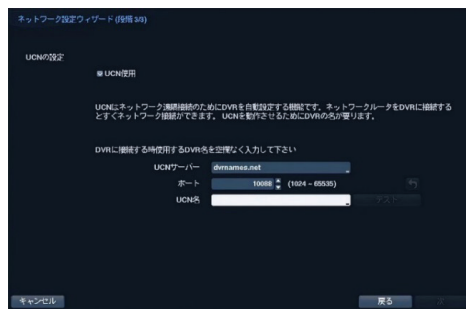
- ✓ “自動構成”を選択するとIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNSサーバのアドレスなどのLAN設定値を自動に取得します。“手動構成”を選択するとマニュアルでLANのパラメータを設定することができます。
- “テスト”を選択し、そのネットワーク構成が使用可能であるか確認していなかった場合、次の設定に移動できる“次”のボタンを押すことができます。



UCNの設定

UCNサービスを使用するためには、“UCN使用”を選択してください。

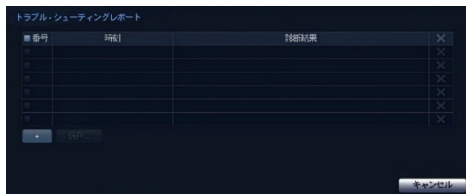
- ✓ UCNは、インターネット接続を遠隔から把握し、ネットワークを簡単に接続できるよう、DVRを自動設定させる機能です。ネットワークルータをDVRに接続することで、即座にネットワークができます。また、UCNを動作させるため、UCN名（UCNに登録するDVRの名前）が必要です。“UCN名”を選択してUCNサーバに登録するUCN名を入力後、“確認”を選択して入力したUCN名が使用できるかを確認できます。
- “確認”を選択して入力したUCN名を確認しなければUCN設定を保存できません。
- 名前を入力しないかUCNサーバ登録済みの名前を入力するとエラーメッセージが表示されます。



“完了”を選択して設定ウィザードを完了します。



“トラブルシューティングレポート”部分を選択してマウスをクリックすると、問題のトラブルシューティングのために生成されたレポートをエクスポートできます。



“システム終了”を選択すると確認設定画面が表示され、もう一度“システム終了”を選択するとシステムは正常終了します。

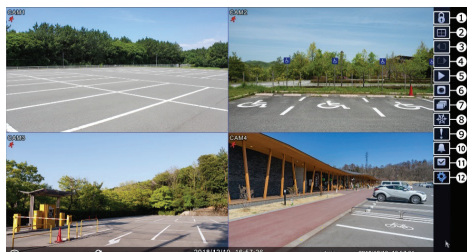


基本機能

リアルタイム監視

DVRが初期化過程を完了すると、直ちに接続されているモニタとスピーカによって監視画面が表示され、オーディオが聞こえます。工場出荷時の基本モードは、全てのカメラを1画面に表示するようになっています。選択したいカメラ画像の上でマウスの左ボタンを押すと、該当カメラの映像を全画面に表示します。



リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面右端に近づけると、画面の右側に下記のリアルタイム監視メニューが現れます。各メニューの上でマウスのボタンを押すと、メニューを選択することができます。



| | |
|--------------|-----------|
| ① ログイン/ログアウト | ② ディスプレー |
| ③ 前画面グループ | ④ 次画面グループ |
| ⑤ 検索 | ⑥ カメラメニュー |
| ⑦ 自動切替 | ⑧ フリーズ |
| ⑨ 緊急録画 | ⑩ アラーム |
| ⑪ 状態 | ⑫ 設定 |

ステータス情報ウィンドウ

| | |
|-----|--------------------------------------|
| | 遠隔プログラムでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 双方向オーディオにつながっている場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| | VNCサービスでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。 |
| | フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| 1/4 | 全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。 |

| | |
|--|---|
|  | イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。 |
|  | HDD録画状態を表示します。上書きの場合、このアイコンが表示されます。上書きを使用しない場合、残っているHDD容量が%で表示されます。 |

映像検索

検索モードでマウスポインタを画面右端に近づけると、画面の右側に下記の検索メニューが現れます。各メニューの上でマウスのボタンを押すと、メニューを選択することができます。



| | |
|----------|----------|
| ①ブックマーク | ②ディスプレイ |
| ③前画面グループ | ④次画面グループ |
| ⑤監視 | ⑥移動 |
| ⑦カメラメニュー | ⑧検索 |
| ⑨緊急録画 | ⑩アラーム |
| ⑪保存 | ⑫状態 |
| ⑬データベース | |

WEB Client 2

WEB Client 2はインターネット上で遠隔地の映像を監視及び検索できるもので、ウェブブラウザ（Google ChromeあるいはMicrosoft Edge）を用いて簡単に接続できます。WEB Client 2を実行するために必要なPCのシステム要求事項は、下記の通りです。

- **OS** : Microsoft® Windows®10 (Home、Pro)、Microsoft® Windows®11
- **CPU** : Intel Pentium IV 2.4以上 (Core 2 Duo E4600推奨)
- **RAM** : 1GB以上 (2GB推奨)
- **VGA** : 128MB以上 (1280x1024、24bpp以上)
- **Microsoft Edge** : 98.0.1108.43以上

- **Chrome** : GoogleChrome 22.0.1229.0以上 (59.xxx以上推奨)

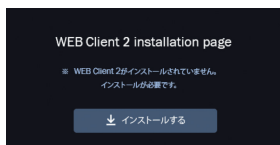
1 ウェブブラウザを実行してからアドレス入力欄へ以下の情報を入力してください。

- “http://IPアドレス : ポート番号” (DVRシステムIPアドレス及びネットワーク - WEB Client 2設定から設定したWEB Client 2接続ポート番号 (デフォルト値 : 12088) 入力)
- 或いは“http://UCNサーバアドレス/UCN名” (UCNサーバアドレス及びUCNサーバへ登録されたDVR名入力)
- 或いは“http://www.dvronline.net” (ログイン時DVR IPアドレス或いはUCNサーバへ登録したUCN名を入力要求)

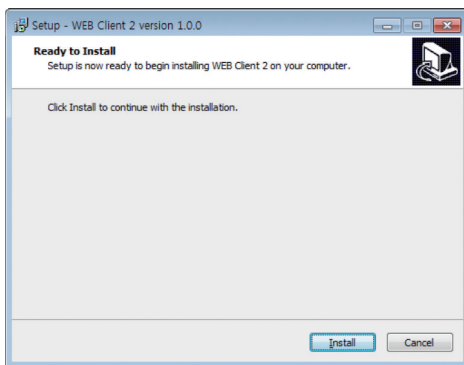
- 接続するDVRのIPアドレス及びWEB Client 2のポート番号はネットワーク管理者へお問い合わせください。

2 初めてWEB Client 2を使用する場合、「インストールが必要です」の画面が表示されます。

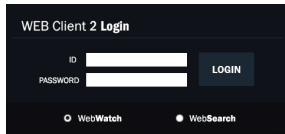
- 次の画面が表示されたら、ボタンをクリックして「installCWG_Jss.exe」ファイルをダウンロードします。



- ダウンロードしたファイルのあるフォルダまで移動してから、installCWG_Jss.exeファイルを実行します。



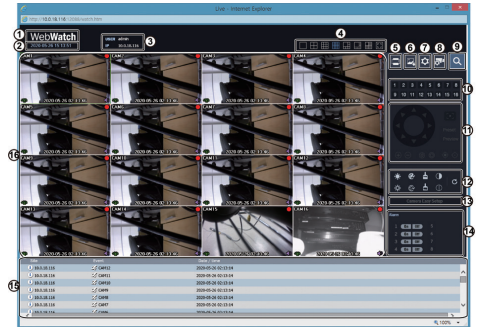
3 Web Client 2のログイン画面が出たら、「WebWatch」（ウェブ監視）または「WebSearch」（ウェブ検索）を選択します。ID及びパスワードを入力して[LOGIN]ボタンをクリックすると選択したモードに接続されます。








- Microsoft® Windows®では映像転送速度の低下によりWEB Client 2のスクリーンの画面が表示されなかったり、更新しなかったりする恐れがあります。本症状の場合は、ご使用のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。
- 管理者権限でコマンドプロンプト実行（“スタート”メニュー → “すべてのプログラム” → “コマンドプロンプト” → マウスの右ボタンを利用し、“管理者として実行”選択）。“netsh int tcp set global autotuninglevel=disable”を入力してからENTERキーを押してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。
- オートチューニング機能を再度復旧するためには管理者権限でコマンドプロンプトを実行してから“netsh int tcp set global autotuninglevel=normal”を入力してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。

ウェブ監視モード






ウェブ監視は遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視のプログラムです。




| | |
|---|---|
| ① | マウスのポインタをWebWatchのロゴ部分に置くとWEB Client 2のバージョンを確認することができます。 |
| ② | 現在の日付時刻情報を表示します。（使用しているPCの時刻） |
| ③ | ログイン情報を表示します。 |
| ④ | 画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します。 |
| ⑤ |  を押すと現在見ている映像をPCに接続されているプリンタで印刷します。監視したいカメラを選択します。 |
| ⑥ |  を押すと現在見ている映像を画像ファイルで保存します。 |
| ⑦ |  を押すと描画モードおよびOSD表示およびアラームアウトの警告音を設定することができます。描画モードを選択して映像を出力する速度を調節、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することができます。アラームアウト警告音をOn/Offから選択できます。 |
| ⑧ |  を押すと遠隔地のDVRイベント、カメラ、ストリーム設定などの設定ができます。 |
| ⑨ |  を押すとウェブ検索モードに切り替えます。 |

| | |
|----|--|
| 10 | 監視したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。 |
| 11 | 遠隔地のPTZカメラを制御します。 |
| 12 | 監視映像の画質を調節します。 |
| 13 | カメラの簡単設定を行うことができます。映像モードをデイ/ナイト別にプリセットまたはユーザー設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> プリセット：Natural(自然)、Vivid(鮮明)、De Noise(ノイズ除去)の中から選択できます。 カスタム：手動に各々の値を設定できます。Sharpness(シャープネス)、Contrast(コントラスト)、Colors(色の濃さ)、Brightness(明るさ)を設定できます。 |
| 14 | 遠隔地のアラーム出力装備を制御します。矢印ボタンを利用して以前のアラームグループまたは次のアラームグループに移動します。 |
| 15 | 下段部のイベントステータスウィンドウは、遠隔地で感知されたイベントリストを表示します。 |
| 16 | 画面よりカメラを選択してマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。 |

| | |
|--|---|
| 魚眼映像歪み補正 | |
| カメラタイトル変更 | |
| オーディオオン | |
| 画面レート | > |
| マルチストリーム | > |
| <input checked="" type="checkbox"/> ブロック現象改善 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> マウスPTZコントロール | |

- ・ **カメラタイトル変更**：カメラタイトルを変更することができます。
- ・ **オーディオオン**：遠隔地とのオーディオの送受信機能を提供します。項目を選択するとオーディオ  * ボタンが表示されます。 ボタンを選択するとマイクを利用して遠隔地に音声を送ることが可能であり、 ボタンを選択するとスピーカーから遠隔地のオーディオを再生することが可能です。 ボタンと  ボタンをすべて選択すると遠隔地と両方向オーディオの送受信が可能になります。* ボタンを選択するとオーディオ送受信が非活性化します。

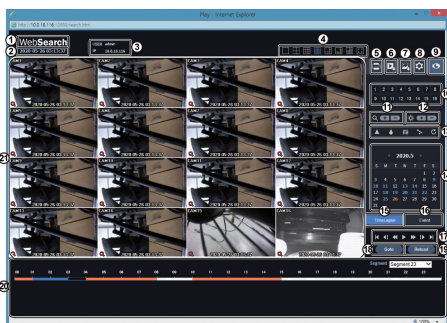
- ・ **画面レート**：スクリーン上に見える映像の出力レートを変更することができます。
- ・ **ブロック現象改善**：拡大映像から見られるブロック現象を除去し、画面へ表示する映像の出力品質を向上させることができます。


- ウェブ監視モードより変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響しません。また、カメラ名を入力しない場合、遠隔地より設定したカメラ名がスクリーン上に表示されます。
- ・ 接続したオーディオ制御機能をサポートする場合、当該カメラスクリーンに  アイコンが表われます。






ウェブ検索モード


ウェブサーチは遠隔地の録画映像を検索することができる遠隔地ウェブ検索プログラムです。

- ウェブ検索スクリーンからの遠隔地接続は30分以上の操作がない場合、自動解除されます。



| | |
|---|--|
| 1 | マウスのポインタをWebSearchのロゴ部分に置けばWEB Client 2のバージョンを確認することができます。 |
| 2 | 現在の日付時刻情報を表示します。(使用しているPCの時刻) |
| 3 | ログイン情報を表示します。 |
| 4 | 画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します。  を押すと現在見ている映像をPCに接続されているプリンタで印刷します。 |
| 5 | <input checked="" type="checkbox"/> 映像調整は一時停止状態でのみ適用されます。 |

| | |
|----|---|
| 6 | <p>を押すと録画映像を実行ファイルとして保存します。</p> <p> 実行ファイルで保存する時、“ブレイヤー”オプションを選択すると保存ファイルのサイズや保存時間を減らすことができます。ファイル再生に必要な専用ビューアープログラムはブラウザのURL入力欄に下記の情報を入力してダウンロードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - UCNを使用する時：“http://UCNサーバアドレス/UCN名前/JSS-Player.exe” (UCNサーバアドレス及びUCNサーバに登録されたUCN名前入力) - UCNを使用しない時：“http://IPアドレス：ポート番号JSS-Player.exe” (DVRシステムIPアドレス及びネットワークWEB Client 2設定で設定したWEB Client 2接続ポート番号(基本値：12088)入力) |
| 7 | <p>を押すと現在みている映像を画像ファイルで保存します。</p> |
| 8 | <p>を押すと描画モード(DrawingMode)、OSD表示(OSD Setup)、時間精度と応答性の選択(OthersSetup)、そしてデュアルストリームの再生優先順位の設定をすることができます。描画モードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示するOSD情報を選択することができます。その他の設定を選択して、時間精度より応答性を優先するように設定できます。デュアルストリームの再生優先順位はDynamic Control、Main Stream Priority、Sub Stream Priorityの中から選択できます。</p> |
| 9 | <p>を押すとウェブ監視モードに切り替えます。</p> |
| 10 | <p>検索したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。</p> |
| 11 | <p>映像を縮小・拡大します。</p> |

| | |
|----|--|
| 12 | <p>映像の明るさを調節します。</p> |
| 13 | <p>映像に様々なイメージフィルターを適用します。</p> <p> 映像調整は一時停止状態でのみ適用されます。</p> |
| 14 | <p>特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態に表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。</p> |
| 15 | <p>“TimeLapse”を選択するとタイムラプス検索モードを利用し、録画映像を時間順に従って検索・再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付の単位で行われ、カレンダーで検索する日付を選択することができます。画面下のタイムテーブルではカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。時間を選択すると、その時間帯の映像を画面に表示します。選択した時間帯に1つ以上の映像がある場合、セグメントを選択することができます。</p> |
| 16 | <p>“Event”を選択するとイベント検索モードになり、ユーザーが指定する特定の条件に満足するイベントを検索することができます。</p> |
| 17 | <p>再生ボタンを押すと指定した状態で映像を再生することができます。</p> |
| 18 | <p>“Goto”を押すと検索する、特定の時間帯の映像にすぐ移動することができます。</p> |
| 19 | <p>“Reload”を押すと遠隔地の最新録画映像を再び読み込みます。</p> |
| 20 | <p>選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。カメラのシステム時間が過去に変更され同一の時間帯に1つ以上の映像が存在する場合、タイムテーブルの右上のセグメントメニューでどのビデオセグメントを検索するか指定することができます。</p> |

JSS遠隔監視システム

21

画面よりカメラを選択してマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。



- ・ **カメラタイトル変更**：カメラタイトルを変更することができます。
- ・ **オーディオオン**：当該映像を保存しながらオーディオも一緒に録音している場合にチェックするとオーディオを出力します。(単一画面再生時に限る)
- ・ **画面レート**：スクリーン上に見える映像の出力レートを変更することができます。
- ・ **ブロック現象改善**：拡大映像から見られるブロック現象を除去し、画面へ表示する映像の出力品質を向上させることができます。



ウェブ検索モードより変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響しません。また、カメラ名を入力しない場合、遠隔地より設定したカメラ名がスクリーン上に表示されます。

システム要件

| | 推奨仕様 | 最低仕様 |
|-----|---|---|
| OS | Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 (64bit) (Home, Professional) Windows® Server2016 以上 | |
| CPU | Intel® Core™ i7-12700K 3.6GHz以上 | Intel® Core™ i3-2100 3.1GHz以上 |
| RAM | 16GB以上 | 2GB以上 |
| VGA | NVIDIA® GeForce® GTX1060、 Quadro P2000以上 (1920×1080、60Hz)、 マルチモニタ | NVIDIA® GeForce® GT710 (1280×1024、60Hz) ※ VGAはNVIDIA® GeForce®のグラフィック ボード使用を推奨して いますが、やむを得ず オンチップIntel® HD GraphicsのPCを使用 する場合は、最低仕様 として「Intel® HD Graphic530」以上が必 要です。 |
| HDD | 6GB以上の空き容量の SSD | 4GB以上の空き容量 |
| LAN | Gigabit Ethernet以上 | 10/100Mbps Ethernet以上 |

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Microsoft® Windows® スタートメニューのコントロールパネルに移動し、電源オプションでモニタ節電機能とハードディスク節電機能を使用しないに設定してください。

- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDのSetupのフォルダの下にあるsetup.exeファイルを実行します。

Microsoft® Windows® でユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- 3 インストール画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
- 4 プログラムがインストールされる経路を指定した後、次ボタンをクリックします。
- 5 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。

NET FrameworkとVisual C++ Runtime Librariesが自動的にインストールされます。インストール時、時間が少々掛かる場合があります。

ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++ Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

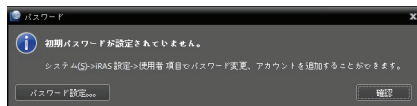
- 6 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

JSS遠隔監視システムソフトウェアをインストールするとデスクトップにJSS遠隔監視システムのジャンプアイコンが生成されます。JSS遠隔監視システムのジャンプアイコンをダブルクリックしてJSS遠隔監視システムプログラムを実行します。

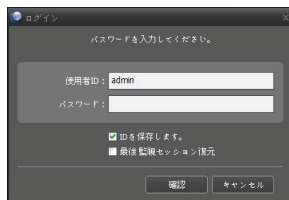
ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



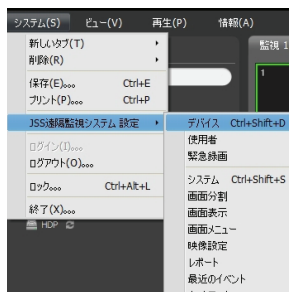
- **IDを保存します:** この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元:** 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。

- ・ユーザーIDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

デバイスの登録

JSS遠隔監視システムで提供する機能を使用するためには、まずJSS遠隔監視システムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

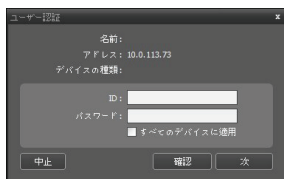
- 1 システムメニュー > JSS遠隔監視システム設定 > デバイスを選択します。



- 2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 検索モードを選択した後、検索開始ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- 4 デバイス検索画面の下段のデバイス登録ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、確認ボタンを押してください。



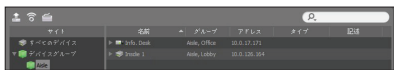
- 6 サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、サイトパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイスグループの追加画面が表示されます。



- **名前**：デバイスグループの名前を入力します。
- **場所**：該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。

左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある選択されたデバイスリスト欄に追加されます。確認ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

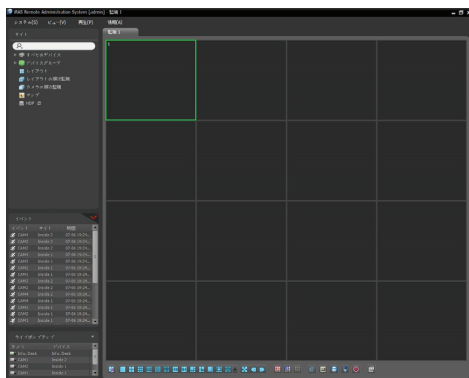
- 7 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、デバイスグループの左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、サイトパネルの下段にある ボタンをクリックするとデバイスグループ修正画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで監視タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで再生タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

JSS遠隔監視-モバイル 2



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN (WiFi) を使用することをお勧めします。携帯会社のインターネットで接続する場合、課金されることがあります。

Androidのモバイルデバイス

- 1 モバイル 機器よりAndroid Playストア (Google Play) アプリケーションを実行してください。
- 2 Playストア (Google Play) アプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



ローカル
を検索



QRコード



アドレス



UCN



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

iOSのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAppストア アプリケーションを実行してください。
- 2 Appストアアプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



ローカル
を検索



QRコード



アドレス



UCN



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

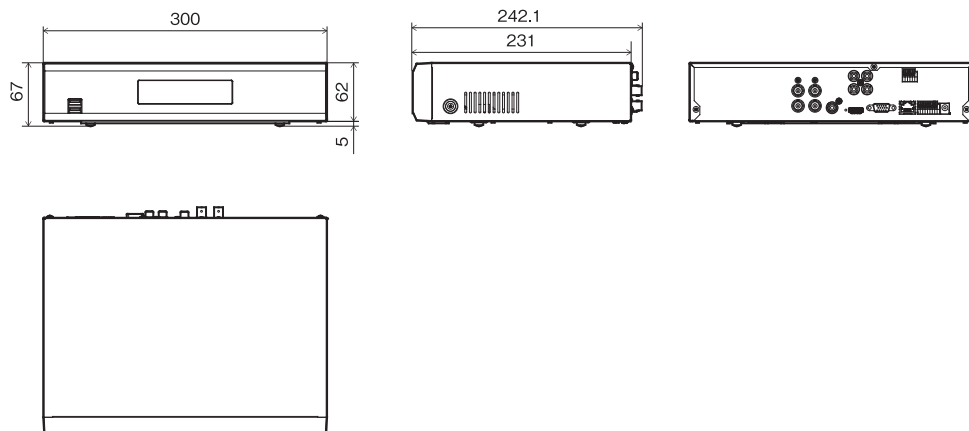
仕様

| | | |
|----------|---|--|
| ビデオ | ビデオ入力 | 4ch(BNC)/アナログHD(AHD、TVI) 1M、2M、3M、4M、5M、CVBS(NTSC、PAL) |
| | ビデオ出力 | HDMI:×1、VGA:×1 |
| | ディスプレイ解像度 | HDMI:3840×2160、1920×1080、1280×1024 VGA:1920×1080、1280×1024 |
| | 表示速度 | 最大120ips |
| 録画 | 録画解像度 | 5MP、4MP、3MP、1920×1080、1280×720、960×480、720×480、640×360、960×240、720×240、480×240、360×240 |
| | フレームレート | 120ips@1080P、72ips@3MP、60ips@4MP、40ips@5MP |
| | 画像圧縮方式 | H.265、H.264 |
| 再生 | 録画モード | タイムラプス、イベント、プリイベント、緊急 |
| | 性能 | 4ch 1080P 同期再生 |
| 保存 | 検索モード | イベントログ、録画テーブル、テキストイン、サムネイル |
| | HDD | 内蔵:4TB(標準)/8TB/12TB(最大) |
| | バックアップ | USB HDD、USBメモリ |
| ネットワーク | RAID | — |
| | クライアント接続ポート | Fast Ethernet(Client)×1 |
| | 伝送速度 | 30ips@Full HD/ch(録画と同じ) |
| イベントアラーム | イベントアラーム | Email(添付ファイル(.cbf、.mp4))、メールバック(遠隔ソフトウェア)、Push通知(モバイルアプリ)、FTP通知(添付ファイル(.cbf、.mp4)) |
| | オーディオ入力/出力 | 4RCA/1RCA + 1HDMI |
| インターフェース | アラーム入力/出力 | 4IN/1Really Out |
| | アラームリセット入力 | — |
| 一般 | シリアルインターフェース | RS232、RS485(Terminal Block)、USB2.0×2 |
| | 外形寸法 | 約300(幅)×62(高)×231(奥)mm ※突起物含まず |
| | 質量 | 約2,217g(HDD1個装着時) |
| | 使用温度範囲 | 0~40℃(湿度90%未満 ※結露しないこと) |
| | 電源/消費電力 | DC12V、1.7A、最大20.4W |
| 同梱物 | 本体×1、電源ケーブル、電源アダプタ、簡易マニュアル×1、マウス×1、遠隔プログラム/製品のマニュアルCD、保証書、ハードディスク固定ねじ/SATAケーブル※ | |

※購入いただいたDVRのHDD容量によって同梱物の有無及び数量が異なります。

外形寸法図

単位: mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店(または工事店)が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店(または工事店)にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。 本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況(できるだけ詳しく)
- ② 品名と品番(5MPアナログHD対応 4chデジタルレコーダ【JS-RA6004】)
- ③ お買い上げ年月日(保証書に記入)
- ④ 製造番号(保証書に記入)
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

JAPAN SECURITY SYSTEM

Safety and trust keep to the future

ご購入元メモ欄

株式会社 日本防犯システム

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング南館11階

www.js-sys.com/

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。